

# Officeのデータベース管理ソフト Accessを使った無線業務日誌 FunLOG

## 目次

1. はじめに
2. FunLOGについて
3. 入力フォーム
4. 設定の方法
5. 入力の方法
6. QSLカードの出力
7. ADIFの出力
8. インストールの方法
9. 付録



# 1. はじめに

ダウンロードして頂き有難うございます。

- ・試しにFunLOGを使ってみようと思う方は、お使いのPCにAccessがインストールされているかを確認してください。

Accessがインストールされていない場合は、Microsoft Access Runtime(無償)をダウンロードしてインストールすれば、FunLOGを動かすことができます。(Access Runtimeは、Accessのプログラムを使用するだけのソフトです)

- ・初期設定だけ行えばすべての機能を使えます。
- ・FunLOGは無線業務日誌として必要な機能は盛り込まれています。

※FunLOGの使用により生じた損失については、作者(草薙の甚六)はその一切の責任を負いませんのでご承知おきください。

## 2. FunLOGについて

FunLOGは、OfficeのAccess 2010でプログラムを開発しました。

出力機能として、QSLカード印刷、ADIF出力が可能です。

DXCCエンティティおよびJCC/JCG一覧のテーブルを持っているので、自動入力出来ます。

交信情報をデータシートビューで開くことで、簡単な条件でデータを抽出できます。

Accessは、データベースを管理するのにはとても良いソフトです。今後さらに機能を充実させる予定です。

### 3. 入力フォーム(1)

①「Searchボタン」でDXCCのエンティティを自動入力することが出来ます。

②「NOWボタン」でJSTおよびUTCを自動入力することが出来ます。

③Codeはキー入力の際、あいまい検索が出来ます。(例「18」→ 静岡県内のすべてのJCC/JCGコードがヒットします)

④ローマ字(市／郡／区)はキー入力の際、あいまい検索が出来ます。(例「shizu」→ 「Shizunai」「Shizuoka」の2件がヒットします)

⑤QTHはキー入力の際、あいまい検索が出来ます。(例「静」→ 静岡県内のすべての市／区／郡がヒットします)

(参考)③、④、⑤は何れかを入力すれば、連動して3つのフィールドが自動的に入力されます。

LOG入力

無線業務日誌 JR2PHC 固定局 静岡市清水区 Ver. 3.0

Callsign Entity **①** Search Clear

DateJST TimeJST **②** Now Clear DateUTC TimeUTC

His RST My RST

Code **③** ローマ字(市/郡/区) **④** QTH **⑤** Search Clear

Name Frequency [MHz] Mode

MY RIG MY ANT

Remarks

データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

### 3. 入力フォーム(2)

LOG入力

無線業務日誌 JR2PHC 固定局 静岡市清水区 Ver. 3.0

Callsign Entity Search Clear

DateJST TimeJST DateUTC TimeUTC Now Clear

His RST My RST

Code ローマ字(市/郡/区) QTH Search Clear

Name Frequency [MHz] Mode ADIF出力  
○ 出力する  
● 出力しない

MY RIG MY ANT QSLカード  
○ 出力する  
● 出力しない

Remarks

データ更新 設定 ⑥ ENTITY ⑦ LOGリスト ⑧ ADIF出力 ⑨ QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

⑥「ENTITYボタン」はLOG入力された記録から何エンティティ交信出来たかを一覧表示して確認できます。

⑦「LOGリストボタン」は、テーブルに保管されている交信情報をデータシートビューで開き、簡単な条件でデータを抽出できます。  
付録(2)参照

⑧「ADIF出力ボタン」はLOG情報をADIFフォーマットに変換して出力します。(eQSLへのアップロード等に利用出来ます)

⑨「QSLカードボタン」はLOG情報からQSLカードを印刷します。

## 4. 設定の方法(1)

「設定」ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

設定画面では、入力フォームのヘッダーに表示させる情報とQSLカードへの記載情報(My コールサイン、固定／移動エリア、My JCC／JCGコード、My QTH My 都道府県、My カントリー、OP NAME、e-mail address、Web address)を登録します。

※空欄にすれば非表示になります。

設定メイン

My コールサイン: JR2PHC  
固定/移動エリア: 固定局  
My JCC/JCG: 180103  
My QTH: 静岡県清水区

My 都道府県: SHIZUOKA  
My カントリー: JAPAN  
OP NAME: Masaaki Taki

e-mail address: jr2phc@mtd.biglobe.ne.jp  
Web address: http://www5a.biglobe.ne.jp/~mtaki/

周波数の登録 モードの登録 リグの登録 アンテナの登録

キャンセル 完了

MY RIG MY ANT

Remarks

データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

## 4. 設定の方法(2)

設定メイン

My コールサイン: JR2PHC  
固定/移動エリア: 固定局  
My JCC/JCG: 180103  
My QTH: 静岡県清水区

My 都道府県: SHIZUOKA  
My カントリー: JAPAN  
OP NAME: Masaaki Taki

e-mail address: jr2phc@mtd.biglobe.ne.jp  
Web address: http://www5a.biglobe.ne.jp/~mtaki/

周波数の登録   モードの登録   リグの登録   アンテナの登録

キャンセル   完了

MY RIG:   MY ANT:   出力する   出力しない

QSLカード   出力する   出力しない

データ更新   設定   ENTITY   LOGリスト   ADIF出力   QSLカード   閉じる

レコード: 116 / 116   フィルターなし   検索

「周波数の登録」、「モードの登録」、「リグの登録」、「アンテナ」の登録」ボタンをクリックすると、それぞれの登録画面が表示されます。

この登録画面では、入力フォームにある入力欄 Frequency、Mode、MY RIG、MY ANTのリストボックスに入るデータを登録します。

## 4. 設定の方法(3)

LOG入力

周波数の登録

<input type="checkbox"/> 1.8MHz	<input checked="" type="checkbox"/> 3.5MHz	<input checked="" type="checkbox"/> 7MHz
<input type="checkbox"/> 10MHz	<input checked="" type="checkbox"/> 14MHz	<input type="checkbox"/> 18MHz
<input checked="" type="checkbox"/> 21MHz	<input type="checkbox"/> 24.5MHz	<input checked="" type="checkbox"/> 28/29MHz
<input checked="" type="checkbox"/> 50MHz	<input checked="" type="checkbox"/> 144MHz	<input checked="" type="checkbox"/> 430MHz
<input type="checkbox"/> 1200MHz	<input type="checkbox"/> 2400MHz	<input type="checkbox"/> 135kHz

キャンセル 完了

MY RIG MY ANT

Remarks

データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

周波数の登録画面では、入力フォームのリストボックスに表示させたい周波数(バンド)にチェック(レ点)を入れます。

入力後は「完了」ボタンをクリックします。



## 4. 設定の方法(4)

LOG入力

モードの登録

清水区 Ver. 3.0

☒ CW ☒ SSB ☒ FM ☒ AM

☒ RTTY ☒ PSK31 ☒ JT65 ☐ SSTV

☒ JT9 ☐ \*\*\* ☐ \*\*\* ☐ \*\*\*

キャンセル 完了

Search Clear

TimeUTC

Search Clear

Name Frequency [MHz] Mode

MY RIG MY ANT

Remarks

データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

モードの登録画面では、入力フォームのリストボックスに表示させたいモードにチェック(レ点)を入れます。

入力後は「完了」ボタンをクリックします。

## 4. 設定の方法(5)

RIGの登録画面では、入力フォームのリストボックスに表示させたい、所有している無線機の名称を入力します。

表示をやめたい無線機名称は「削除」ボタンで消去できます。

入力後は「完了」ボタンをクリックします。

## 4. 設定の方法(6)

アンテナの登録画面では、入力フォームのリストボックスに表示させたいアンテナ名称を入力します。

表示をやめたいアンテナ名称は「削除」ボタンで消去できます。  
入力後は「完了」ボタンをクリックします。

## 4. 設定の方法(7)

設定画面での登録が終わったら「完了」ボタンをクリックします。

設定メイン

My コールサイン: JR2PHC  
固定/移動エリア: 固定局  
My JCC/JCG: 180103  
My QTH: 静岡県清水区

My 都道府県: SHIZUOKA  
My カントリー: JAPAN  
OP NAME: Masaaki Taki

e-mail address: jr2phc@mtd.biglobe.ne.jp  
Web address: http://www5a.biglobe.ne.jp/~mtaki/

周波数の登録 モードの登録 リグの登録 アンテナの登録

キャンセル 完了

MY RIG MY ANT

Remarks

データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

## 5. 入力の方法(1)

「Callsign」に相手局のコールサインを入力して[Enter]キーを押下します。

過去に交信の記録がない場合は<1st QSO>のダイアログが表示されます。

交信記録がある場合は、LOGリスト画面が表示されます。

LOGリスト画面の「貼り付け」ボタンをクリックすると、[Code]、[ローマ字(市/郡/区)]、[QTH]、[名前]が、LOG入力フォームに自動入力されます。

LOG入力

無線業務日誌 JR2PHC 固定局 静岡市清水区 Ver. 3.0

LOGリスト

コールサイン	日付J	時刻J	周波数	モード	名前	QTH
JR2IUB	2011/12/03	00:00	50	FM	斉藤	静岡県静岡市清水区
JR2IUB	2012/01/02	22:48	430	FM	斉藤	静岡県静岡市清水区
JR2IUB	2012/12/24	14:05	50	PSK31	take	静岡県静岡市清水区
*						

貼り付け 削除 閉じる

MY RIG MY ANT

Remarks

データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

## 5. 入力の方法(2)

LOG入力

無線業務日誌 JR2PHC 固定局 静岡市清水区 Ver. 3.0

Callsign: JR2IUB Entity: Search Clear

ENTITYリスト

Prefix	Entity	Continent	ITUzone	CQzone	GL
JR	Japan	AS	45	25	PM95
*					

貼り付け 削除 閉じる

データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

「Entity」右側の「Searchボタン」をクリックします。ENTITYリスト画面が表示されるので、確認後貼り付けボタンをクリックします。

複数表示される場合は、選択したい行の左側にある▶マークをクリックして、貼り付けボタンをクリックします。

「Entity」は直接キー入力も可能ですが、入力する文字列が異なると、別エンティティと認識されるので注意が必要です。

## 5. 入力の方法(3)

LOG入力

無線業務日誌 JR2PHC 固定局 静岡市清水区 Ver. 3.0

Callsign: JR2IUB Entity: Japan [Search] [Clear]

DateJST: 2016/12/24 TimeJST: 12:52 [Now] [Clear] DateUTC: 2016/12/24 TimeUTC: 03:52

His RST: [ ] My RST: [ ]

Code: [ ] ローマ字(市/郡/区) [ ] QTH: [ ] [Search] [Clear]

Name: [ ] Frequency [MHz]: [ ] Mode: [ ]

MY RIG: [ ] MY ANT: [ ]

Remarks: [ ]

ADIF出力  
☐ 出力する  
☒ 出力しない

QSLカード  
☐ 出力する  
☒ 出力しない

[データ更新] [設定] [ENTITY] [LOGリスト] [ADIF出力] [QSLカード] [閉じる]

レコード: 116 / 116 [フィルターなし] [検索]

「Now」ボタンをクリックすると。現在の日時が、JSTとUTCの両方が自動に入力されます。

JSTはキー入力も可能です。(キー入力した場合も、UTCは自動で入ります)

## 5. 入力の方法(4)

LOG入力

無線業務日誌 IP2 DHC 田中昌 静岡県清水区 Ver. 3.0

Call sign: JR2IUB

Date JST: 2016/12/2

His RST: 59 My RST: 59

Code: 18

Name:

MY RIG:

Remarks:

データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

QTHコード

JCC_JCG	QTH	QTHローマ字
1801	静岡県静岡市	Shizuoka
180101	静岡県静岡市葵区	Aoi
180102	静岡県静岡市駿河区	Suruga
180103	静岡県静岡市清水区	Shimizu
1802	静岡県浜松市	Hamamatsu
180201	静岡県浜松市中区	Naka
180202	静岡県浜松市東区	Higashi
180203	静岡県浜松市西区	Nishi
180204	静岡県浜松市南区	Minami

貼り付け 削除 閉じる

出力 出力する 出力しない

QSLカード 出力する 出力しない

「Code」に相手局のJCC/JCGコードを入力します。コードを全ケタ入力しなくても、途中で[Enter]を押下、または「Search」ボタンをクリックすると候補が表示されます。

(例) 180と入力すると  
1801, 180101, 180102, 180103.....のように候補が表示されます。

候補の中から該当するJCC/JCGを選び、JCC/JCGリスト画面の左にある▶ マークを移動させて「貼り付け」ボタンをクリックします。

「ローマ字(市/郡/区)」、「QTH」においても同様に途中入力で候補が表示されます。



## 5. 入力の方法(5)

「Frequency[MHz]」、「Mode」、「MY RIG」、「MY ANT」はリストボックスより選択します。

LOG入力

無線業務日誌 JR2PHC 固定局 静岡市清水区 Ver. 3.0

Callsign: JR2IUB Entity: Japan [Search] [Clear]

DateJST: 2016/12/24 TimeJST: 12:57 [Now] [Clear] DateUTC: 2016/12/24 TimeUTC: 03:57

His RST: 59 My RST: 59

Code: 180103 ローマ字(市/郡/区): Shimizu QTH: 静岡県静岡市清水区 [Search] [Clear]

Name: 斉藤

Frequency [MHz]:  Mode: [Dropdown]

ADIF出力: ☐ 出力する ☒ 出力しない

QSLカード: ☐ 出力する ☒ 出力しない

MY RIG: [Dropdown]

Remarks: [Text Area]

[データ更新] [設定] [ENT] [ADIF出力] [QSLカード] [閉じる]

レコード: 116 / 116

## 5. 入力の方法(6)

LOG入力

無線業務日誌 JR2PHC 固定局 静岡市清水区 Ver. 3.0

Callsign: JR2IUB Entity: Japan [Search] [Clear]

DateJST: 2016/12/24 TimeJST: 12:57 [Now] [Clear] DateUTC: 2016/12/24 TimeUTC: 03:57

His RST: 59 My RST: 59

Code: 180103 ローマ字(市/郡/区): Shimizu QTH: 静岡県静岡市清水区 [Search] [Clear]

Name: 斉藤 Frequency [MHz]: 430 Mode: FM

MY RIG: IC-2710 MY ANT: GP

Remarks:

ADIF出力  
☐ 出力する  
☒ 出力しない

QSLカード  
☐ 出力する  
☒ 出力しない

データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

入力が終わったら「データ更新」ボタンをクリックします。

レコード(ページ)を移動するには、左下にあるレコードの移動ボタン(小さい三角)をクリックします。

先頭レコード、前のレコード、次のレコード、最終レコード、新しい(空の)レコードの順にボタンが並んでいます。

## 6. QSLカードの出力(1)

LOG入力

無線業務日誌 JR2PHC 固定局 静岡市清水区 Ver. 3.0

Callsign: JR2IUB Entity: Japan Search Clear

DateJST: 2016/12/24 TimeJST: 12:57 Now Clear DateUTC: 2016/12/24 TimeUTC: 03:57

His RST: 59 My RST: 59

Code: 180103 ローマ字(市/郡/区) Shimizu Search Clear

Name: 斉藤

MY RIG: IC-2710 MY ANT: GP

Remarks:

データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

Microsoft Access

QSLカードを出力します。

はい(Y) いいえ(N)

ADIF出力

☐ 出力する ☒ 出力しない

QSLカード

☒ 出力する ☐ 出力しない

①QSLカードのラジオボタンを「出力する」にチェックします。(LOG入力フォームにおいてカード出力したいページを複数チェックできます)

②「QSLカード」ボタンをクリックします。

③「QSLカードを出力します。」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックします。

## 6. QSLカードの出力(2)

「レコードを更新しますか？」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックします。

LOG入力

無線業務日誌 JR2PHC 固定局 静岡市清水区 Ver. 3.0

Callsign: JR2IUB Entity: Japan Search Clear

DateJST: 2016/12/24 TimeJST: 12:57 Now Clear DateUTC: 2016/12/24 TimeUTC: 03:57

His RST: 59 My RST: 59

Code: 180103 ローマ字(市/郡/区) Shimizu Search Clear

Name: 斉藤

MY RIG: IC-2710 MY ANT: GP

Remarks:

データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

Microsoft Access

レコードを更新しますか？

☒ はい(Y) ☐ いいえ(N)

ADIF出力

☐ 出力する

☒ 出力しない

QSLカード

☒ 出力する

☐ 出力しない

## 6. QSLカードの出力(3)



SHIZUOKA JAPAN  
J\*\*\*\*\*

Microsoft Access

用紙サイズ：はがきサイズ 印刷の向き：横 に設定してください。

/JCG:180103

OK

JST  
08:58

BAND [MHz]	MODE	RS(T)/dB
430	FM	59

TNX FB QSO

e-mail:jr2phc@mtd.biglobe.ne.jp

Web:http://www5a.biglobe.ne.jp/~mtaki/



プレビュー画面が表示されます。

プリンターの用紙サイズは、はがきサイズ  
印刷の向きは、横 に設定します。

入力フォームでQSLカードラジオボタン「出力する」を複数チェックした場合は、チェックした枚数が印刷されます。

印刷が終了すると、入力フォームのQSLカードラジオボタンは「出力しない」に自動的に切り替わります。

## 7. ADIF出力(1)

LOG入力

無線業務日誌 JR2PHC 固定局 静岡市清水区 Ver. 3.0

Callsign: JR2IUB Entity: Japan Search Clear

DateJST: 2016/12/24 TimeJST: 12:57 Now Clear DateUTC: 2016/12/24 TimeUTC: 03:57

His RST: 59 My RST: 59

Code: 180103 ローマ字(市/郡/区) Shimizu Search Clear

Name: 斉藤

MY RIG: IC-2710 MY ANT: GP

Remarks:

データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

Microsoft Access

ADIF出力します。

はい(Y) いいえ(N)

ADIF出力

出力する 出力しない

QSLカード

出力する 出力しない

①ADIF出力のラジオボタンを「出力する」にチェックします。(LOG入力フォームにおいてカード出力したいページを複数チェックできます)

②「ADIF出力」ボタンをクリックします。

③「ADIF出力します。」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックします。

## 7. ADIF出力(2)

「レコードを更新しますか？」

というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックします。

LOG入力

無線業務日誌 JR2PHC 固定局 静岡市清水区 Ver. 3.0

Callsign: JR2IUB Entity: Japan Search Clear

DateJST: 2016/12/24 TimeJST: 12:57 Now Clear DateUTC: 2016/12/24 TimeUTC: 03:57

His RST: 59 My RST: 59

Code: 180103 ローマ字(市/郡/区): Shimizu Search Clear

Name: 斉藤

MY RIG: IC-2710 MY ANT: GP

Remarks:

データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索

Microsoft Access

レコードを更新しますか?

はい(Y) いいえ(N)

ADIF出力

☒ 出力する ☐ 出力しない

QSLカード

☐ 出力する ☒ 出力しない

## 7. ADIFの出力(3)

「出力しました。」というメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックします。

ADIFが出力されると、入力フォームのADIF出力出力ラジオボタンは「出力しない」に自動的に切り替わります。

LOG入力

無線業務日誌 JR2PHC 固定局 静岡市清水区 Ver. 3.0

Callsign: JR2IUB Entity: Japan Search Clear

DateJST: 2016/12/24 TimeJST: 12:57 Now Clear DateUTC: 2016/12/24 TimeUTC: 03:57

His RST: 59 My RST: 59

Code: 180103 ローマ字(市/郡/区) Shimizu QTH: 静岡 Search Clear

Name: 斉藤 Frequency: 430

MY RIG: IC-2710 MY ANT: GP

Remarks:

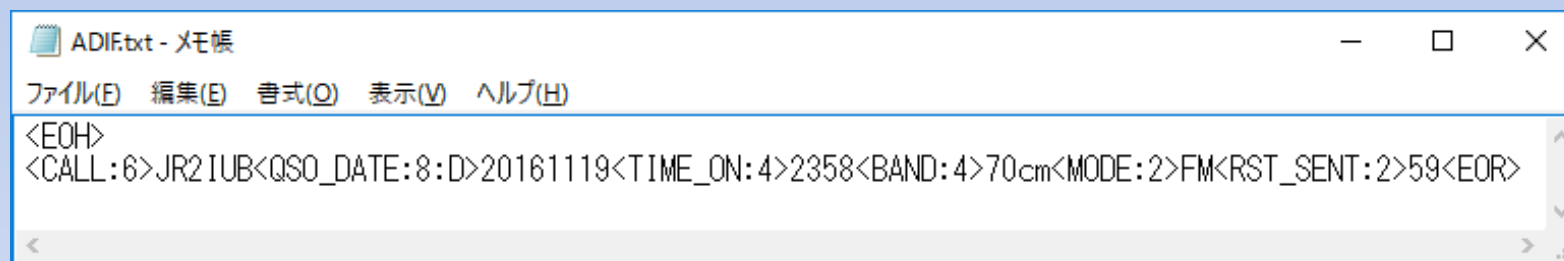
データ更新 設定 ENTITY LOGリスト ADIF出力 QSLカード 閉じる

レコード: 116 / 116 フィルターなし 検索



## 7. ADIFの出力(4)

名前	更新日時	種類	サイズ
imgs	2016/11/19 20:08	ファイル フォルダー	
ADIF.txt	2016/11/20 11:10	テキスト ドキュメント	1 KB
FunLOG_v2_0.accdb	2016/11/20 11:13	Microsoft Access ...	5,504 KB
FunLOG_v2_0_data.accdb	2016/11/20 11:13	Microsoft Access ...	704 KB



```
<EOH>  
<CALL:6>JR2IUB<QSO_DATE:8:D>20161119<TIME_ON:4>2358<BAND:4>70cm<MODE:2>FM<RST_SENT:2>59<EOR>
```

出力されたADIFは[ADIF.txt]というファイル名で、C:\¥FunLOG に保存されます。  
メモ帳で開いてデータを確認できます。

フォルダの場所については、「インストールの方法」の項目で説明します。

## 8. インストールの方法(1)

1. ダウンロードしたファイル「FunLOG\_v3\_0.zip」はzip形式の圧縮ファイルなので適当なフォルダで解凍してください。

FunLOG\_v3\_0.zip → FunLOG (解凍後)

解凍すると

FunLOG → フォルダ

1つのフォルダが出来ます。

FunLOG フォルダの中は

imgs → フォルダ

FunLOG\_data.accdb → データ

FunLOG\_v3\_0.accde → プログラム

1つのフォルダと2つのファイルがあるので確認してください。

## 8. インストールの方法(2)

2. 解凍後のFunLOGフォルダを  
Cドライブの直下に移動またはコピーします。

エクスプローラ等で C:¥FunLOG フォルダとその下に以下のサブフォルダとファイルが存在することを確認してください。

C:¥FunLOG¥Imgs →サブフォルダ

¥FunLOG\_data.accdb →データ

¥FunLOG\_v3\_0.accde →プログラム

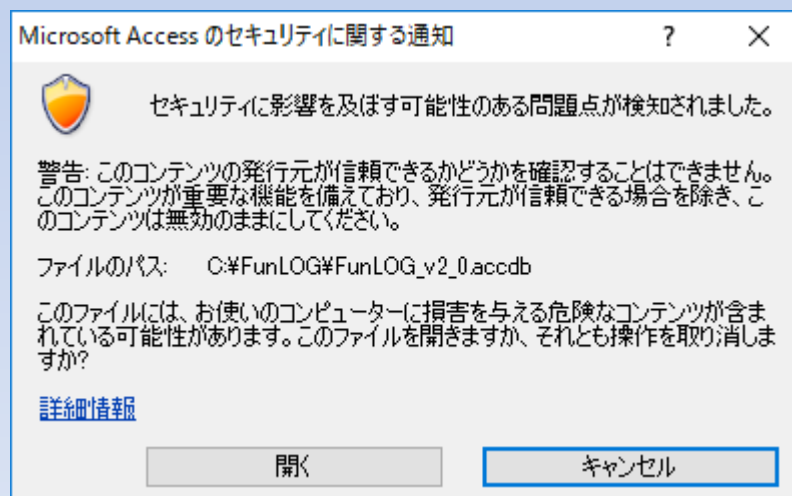
※プログラムファイル FunLOG\_V3\_0.accdeは、好みのドライブ・フォルダに移動しても起動可能です。データファイル FunLOG\_data.accdbは移動すると正常に起動出来ません。

## 8. インストールの方法(3)


### 3. 起動方法

FunLOG\_v3\_0.accde をダブルクリックして起動。

下記のような通知が表示される場合があります。  
内容を読んで「開く」ボタンをクリックしてください。



## 9. 付録(1)

1. サブフォルダに格納されているファイルは QSLカードに印刷される画像ファイルです。

gazo.jpg → 幅320px 高さ500px

hanko.png → 幅100px 高さ100px

好みの画像に差し替えてください。(サイズは目安です)

※好みの画像のファイル名は、[gazo.jpg]、[hanko.png]としてフォルダに置きます。

ファイル名の変更はできません。

## 2. バージョンアップ方法

最新バージョンがリリースされたら、プログラムファイル

FunLOG\_v\*\_\*.accde のみを差しえるだけです。

データファイル FunLOG\_data.accdb は定期的に  
バックアップを行い大切に保管してください。

## 9. 付録(2)

「LOGリスト」ボタンで表示されるデータシートビューで指定したデータを抽出する方法。(抽出はACCESSではフィルタとい  
います)


### ■方法1

抽出したいデータ上で右クリックし  
表示されるメニューから実行。

(例)

①コールサインのフィールドで  
JR2IUBを右クリック。

②表示されたメニューか  
ら"JR2IUB"に等しいをクリック。



The screenshot shows a data table with columns: コールサイン (Callsign), ENTITY, 日付J (Date J), and 時 (Time). The row for 'JR2IUB' is highlighted. A right-click context menu is open over this row, showing various options. The option 'JR2IUB" に等しい(E)' (Equal to 'JR2IUB') is highlighted with a red circle and the number 2.

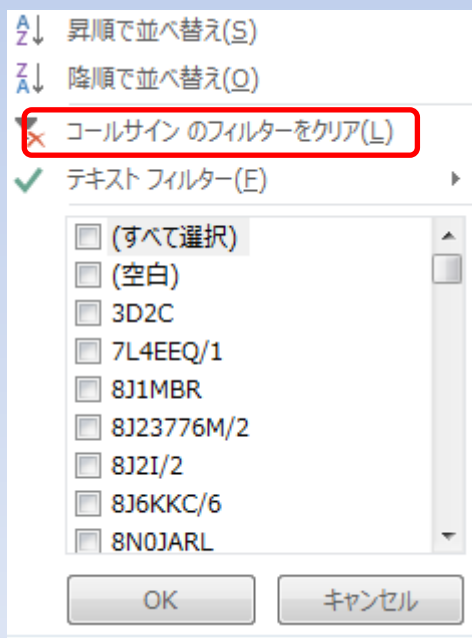
コールサイン	ENTITY	日付J	時
3D2C	Conway Reef	2012/09/29	17:34 20
ZL1 RS	New Ze	2012/09/29	17:34 20
V84SMD	Brunei	2012/09/29	17:34 20
① JR2IUB	Japan	2012/09/29	17:34 20
JG1 WFY	Japan	2012/09/29	17:34 20
HA9SU	Hungar	2012/09/29	17:34 20
8J1 MBR	Japan	2012/09/29	17:34 20
8J6KKC/6	Japan	2012/09/29	17:34 20
JR2VYM	Japan	2012/09/29	17:34 20
JH2QMR	Japan	2012/09/29	17:34 20
JL5UDJ	Japan	2012/09/29	17:34 20

- 切り取り(I)
- コピー(C)
- 貼り付け(P)
- 昇順で並べ替え(S)
- 降順で並べ替え(D)
- コールサインのフィルターをクリア(L)
- テキストフィルター(E)
- ② JR2IUB" に等しい(E)
- "JR2IUB" に等しくない(N)
- "JR2IUB" を含む(I)
- "JR2IUB" を含まない(D)
- 再変換(V)

## 9. 付録(3)

コールサイン	ENTITY	日付J	時	日付U	時	相手のR	自分のF	交信周
JR2IUB	Japan	2011/12/03	00:00	2011/12/02	15:00	59	59	50
JR2IUB	Japan	2012/01/02	22:4E	2012/01/02	13:4E	59	59	430
JR2IUB	Japan	2012/12/24	14:05	2012/12/24	05:05	599	599	50

“JR2IUBに等しい”を実行した画面です。  
コールサインが「JR2IUB」のみ表示されました。

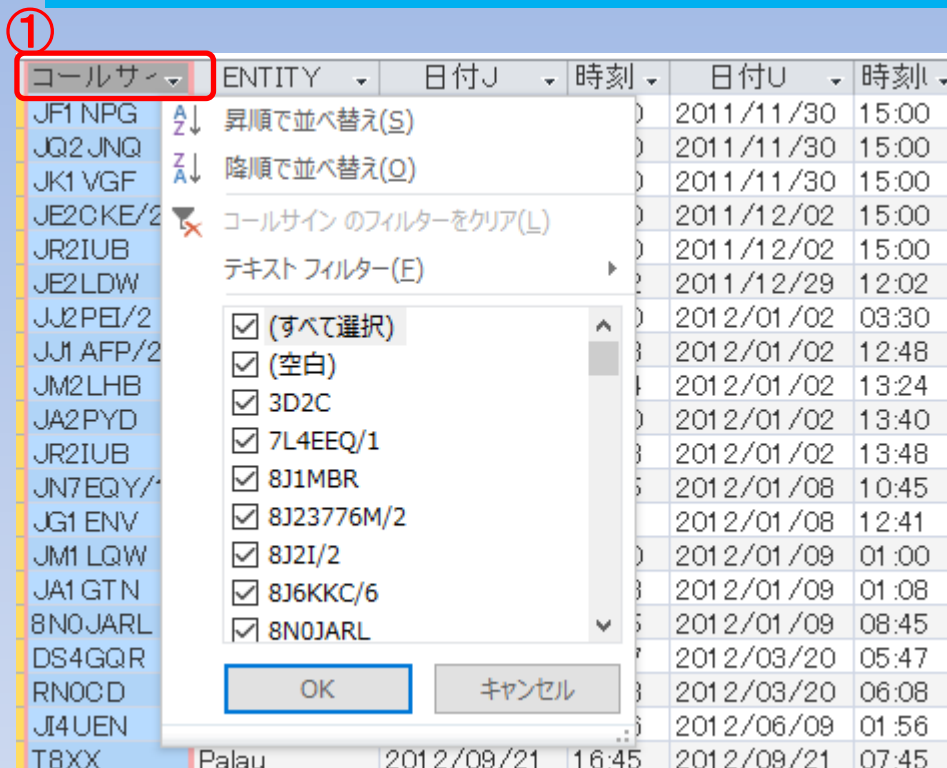


### ◇フィルタの解除

もう一度右クリックして表示されるメニューから、「コールサインのフィルタをクリア」をクリック。

※データシートビューを閉じてでも解除されます。

## 9. 付録(4)



### ■方法2

フィールドのメニューから実行。

(例)

①フィールドの▼ マークをクリックして表示されるメニューからフィルタを選ぶ、または文字列を入力して実行する。

「昇順で並べ替え」または「降順で並べ替え」を実行した場合のフィルタ解除は、データシートビューを閉じることで解除できる。

END